

滋賀県立高等学校入学者選抜方法等改善協議会 第7回会議 会議概要

日 時 令和5年8月29日(火) 14時30分～16時15分
場 所 滋賀県庁東館7階大会議室
出席委員 会 場：若松委員、馬淵委員、寺田委員、明吉委員、樋口委員、北村委員、東谷委員、
加藤委員、犬井委員、浦島委員、福井委員、山添委員
リモート：井手委員、原委員、松浦委員、北川委員 (出席16名)
欠席委員 小南委員、炭谷委員 (欠席2名)
県出席者 福永教育長、村井教育次長、嬉野教育次長、横井高校教育課長、
小嶋魅力ある高校づくり推進室長、青木保健体育課長、南野競技力向上対策室長
白井参事、杉原参事、富永主幹、池上私学・県立大学振興課副主幹、他関係職員
傍聴者等 傍聴：2名 報道：2社(京都新聞、中日新聞)

1 開 会

- (1) 新委員の自己紹介
山添委員より自己紹介をいただいた。
- (2) 滋賀県立高等学校入学者選抜方法等改善協議会第6回会議の概要について
事務局より説明があり、原案のとおり承認された。

2 協 議

- (1) 第6回会議の質問に対する回答について
 - ・他県における、学力検査以外の検査における出願倍率について、事務局から説明が行われた。
 - ・中学校長推薦と自己推薦を併用している他県における、出願に係る要件の違い、ならびに自己推薦における出願内容の確認等について、事務局から説明が行われた。

- (2) 中間報告後の意見聴取結果について

中間報告後に実施された意見聴取結果から、二次選抜の在り方と、帰国生徒・外国人児童生徒に対する特別の選択枠を導入することについての結果を事務局から報告し、意見交換が行われた。

○主な意見は次のとおり。

- (ア) 帰国生徒・外国人児童生徒に対する配慮は、教育課程の整備とセットで考える必要があると思うが、本協議会からの提言という形が良いのではないかと。(市町教育委員会関係者)

- (3) 選抜日程について

事務局から、広島県の日程変更(選抜の一本化)の事例紹介と、それを参考にして、仮の日程として令和8年度入学者選抜における本県選抜を一本化した場合のシミュレーションの説明が行われ、意見交換が行われた。

○主な意見は次のとおり。

- (ア) 日程があまり早まると、中学校で教育課程で定められた授業時数を実施できるのかという不安はある。そういう実情を含めて今後、日程を検討してほしい。(市町教育委員会関係者)
- (イ) 2月に学力検査が実施されるとなると、中学校でも早期に計画していくことが必要で、日程的には今よりは厳しくなり少し余裕が無くなると感じた。(中学校関係者)

- (ウ) 高校としては、全体の期間が縮まるのはありがたい。今までは、入試の時期は業務負担も大きく、行事なども入れにくかったが、少しでも日程が上がると、今まで以上に落ち着いて、全体の動きを考えることができるようになる。(高校関係者)
- (エ) 一本化した場合、時間的なゆとりが出来るのは非常に良いが、業務量等の負担は増える可能性もあるため、実施する検査等の吟味が重要だと考える。(高校関係者)
- (オ) 中学校としては、採点補助システムなどの活用によって、少しでも検査の日程を下げるということが可能になるのであれば、検討していただくとありがたい。(中学校関係者)
- (カ) 中学校の授業時数については、選抜が一本化されると、今まで授業ができなかった部分で確保ができるなどの可能性もあると思っているが、2月中旬に検査が終わるということについては、それ以外のことで心配はあり、3月に入ってからありがたい。(中学校関係者)
- (キ) 提案された日程は、よく練られていると思う。その上で、一次募集の出願期間や出願変更期間は、十分な時間をとった方が、中学生にとって望ましいと感じる。(学識経験者)
- (ク) CBT（コンピュータベースドテスト）を導入していくことなども、先生方の採点業務等の負担を減らすことにつながるのではないかと考える。(学識経験者)
- (ケ) CBTの場合は、脆弱性も考えられるため、入試において実施するということを考えた場合の不安は残る。何らか、紙で記録が残るシステムの方が、不慮の事態に対して強いのではないかと思う。(学識経験者)
- (コ) コロナ前後で、生徒の受験への向き合い方が変わったとも言われており、受検回数一本化は、学校間格差を広げることにつながるのか。他府県の動向などを調べて教えていただくとありがたい。(私立学校関係者)

(3) 今後の予定について

次の2点が確認された。

- ①第8回会議で最終報告（案）について協議を行うこと。
- ②令和5年12月を目処に、最終報告を行うこと。

(4) その他

特になし。

3 閉会

- ・閉会にあたり、福永教育長から挨拶があった。
- ・次回、第8回協議会の日程については、令和5年10月末頃に開催する方向で調整し、委員には改めて連絡することとした。

第7回滋賀県立高等学校入学者選抜等改善協議会 出席委員名簿

	委員名	所属	役職	出欠	オンライン
1	わかまつ ようすけ 若松 養亮	滋賀大学教育学部	教授	○	
2	いで しんじ 井手 慎司	滋賀県立大学	学長		○
3	はら きよはる 原 清治	佛教大学	副学長		○
4	まぶち ひとし 馬淵 均	米原市教育委員会	教育長	○	
5	まつうら かよこ 松浦 加代子	湖南省教育委員会	教育長		○
6	あきよし まさと 明吉 正知	県立守山中学校・高等学校	校長	○	
7	ひぐち けいこ 樋口 啓子	県立石山高等学校	校長	○	
8	きたむら としこ 北村 登志子	県立長浜北高等学校	校長	○	
9	ひがしたに まさひろ 東谷 正宏	県立草津東高等学校	教頭	○	
10	こみなみ みほこ 小南 美穂子	県立河瀬高等学校	教頭	欠席	
11	かとう みつお 加藤 三男	彦根市立中央中学校	校長	○	
12	きたがわ かずこ 北川 和子	大津市立仰木中学校	校長		○
13	うらしま ようこ 浦島 容子	高島市立高島中学校	校長	○	
14	いぬい ひろあき 犬井 裕明	東近江市立能登川中学校	校長	○	
15	ふくい ひろえ 福井 洋枝	守山市立守山南中学校	教頭	○	
16	てらだ けいじ 寺田 佳司	滋賀県私立中学高等学校連合会	会長	○	
17	すみや まさし 炭谷 将史	滋賀県公立高等学校PTA連合会	近畿大会滋賀大会 大会会長	欠席	
18	やまぞえ ともみ 山添 友美	滋賀県P T A連絡協議会	会長	○	

検討主題

「生徒の優れた点を多面的な観点で評価しつつ、主体的な進路選択を推進する入学者選抜方法等のあり方について」

検討事項

○ 令和8年度入学者選抜に向けた制度の在り方について

論点① 「推薦選抜、スポーツ・文化芸術推薦選抜、特色選抜の現状と課題など」

論点② 「一般選抜の現状と課題など」

論点③ 「入試日程および入試業務など」

各高等学校が求める生徒像や卒業後の姿、
教職員の働き方改革の観点等も踏まえて、議論

令和の時代に対応した新しい入学者選抜制度の構築

論点③ 「入試日程および入試業務など」

受検機会

- ・ 受検機会が1回になると受検生の不安感が大きい。
- ・ 受検生自身が自己を推薦する機会があったほうがよい。
- ・ 1回の選抜で、複数観点をを用いることは、複数回の選抜機会の保障につながる。
- ・ (現行制度は) 中学校側、高校側とも出願業務が煩雑化し負担となっている。

入試業務

- ・ Web出願や採点補助システムの導入により、負担軽減につながる。
- ・ 出願に係る事務作業をスリム化していくという働き方改革の視点も大切。
- ・ 複数回の出願や出願変更は、受検生、中学校側、高校側とも負担。
- ・ 特色選抜実施校における業務(作問、採点など)負担が大きい。

入試日程

- ・ 中学生の学習や、入試に係る進路指導や業務を考えると、現状の日程が望ましい。
- ・ 二次選抜の日程が遅い。一部の私立高校では入学者の確定できない状況が発生して経営に大きな影響がある。
- ・ 大津清陵高校では、3つの課程の選抜を並行して実施しているため、日程が過密。

新入学者選抜制度の方向性 ～主体的な進路選択の推進～

1 スクール・ポリシーを踏まえ、子どもの学びに応じた入学者選抜の実施

- 教育目標、育てたい生徒像、入学者受入方針の明確化
 - ・「目指す教育」や「求める生徒像」の周知
 - ・出願要件の明確化(校内外での活動実績、評定 など)
 - ・選抜基準の明確化(活動実績、実技検査、調査書の配点や比率 など)
- 各校の特色に応じた選抜の実施
 - ・面接、プレゼンテーション、ディスカッション、小論文、作文、口頭試問、実技など
- 中学生が自己をアピールできる自己推薦制度の導入
- 多様な尺度での評価
 - ・学力検査では測ることができない資質・能力を評価する機会の保障

2 受検機会の保障

- 複数回の受検機会
- 中学生が自己をアピールできる自己推薦制度の導入
- 特別な配慮を必要とする生徒への入試における対応のさらなる充実
- 出願変更や二次選抜の在り方

3 負担の軽減

- Web出願導入による出願業務の負担軽減
- 学力検査内容の精選や採点補助システム導入による採点業務の負担軽減

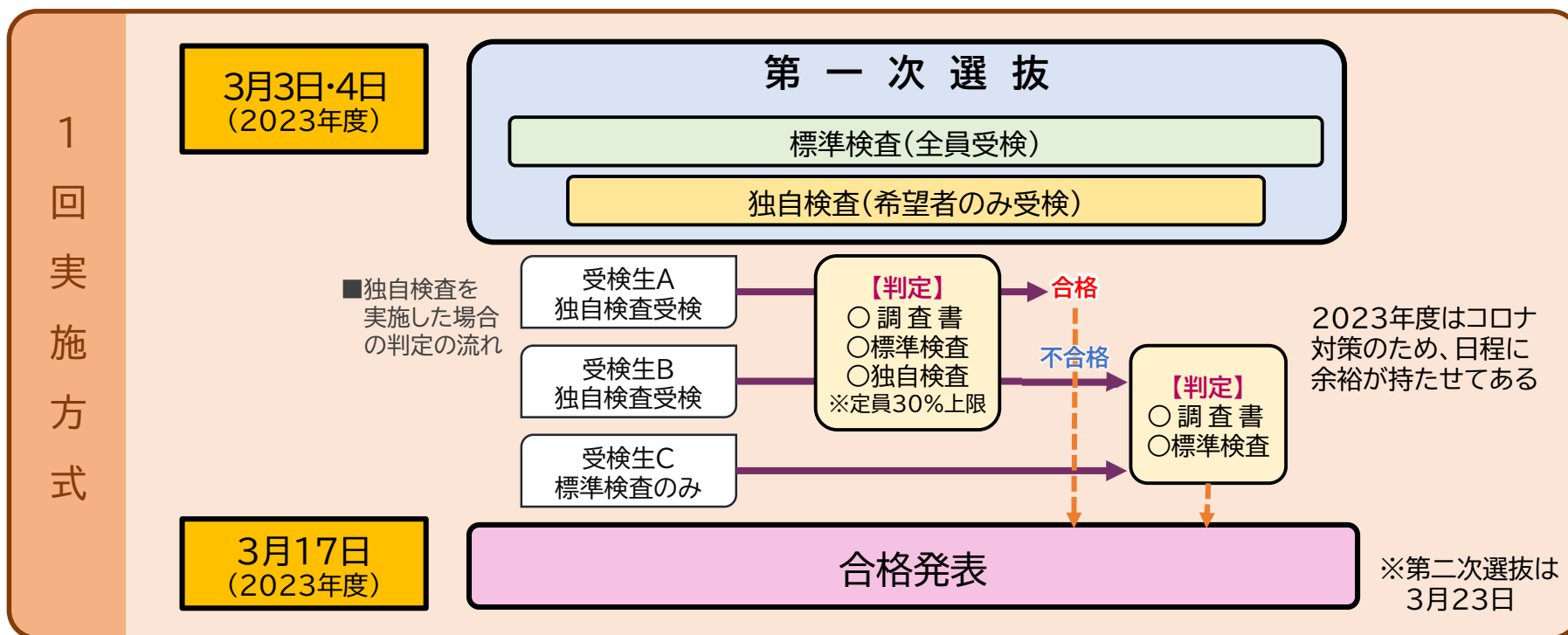
他の都道府県における入学者選抜について

岐阜県 選抜時期を1本化し、学力検査を全員が受検して、推薦型選抜の判定にも利用

●第一次選抜

- ・全ての高校の学科(群)で「標準検査」(全員が受検する学力検査。他の都道府県での一般選抜学力検査にあたる)を実施
- ・学科等の専門領域における実技能力や部活動等の実績を重視した選抜では「標準検査」に加えて「独自検査(面接・小論文・実技検査・自己表現の中から高校が指定)」を実施し、希望者が受検する
- ・判定の流れは
 - ①独自検査受検者について、「調査書」「標準検査」「独自検査」の結果に基づき総合的に審査、合否を判定
 - ②独自検査での合格者を省く全受検者を対象に、「調査書」「標準検査」の結果に基づき総合的に審査、合否を判定

※第二次選抜は、第一次選抜で合格者が定員に満たない場合に実施。



他の都道府県における入学者選抜について

■岐阜県の独自検査にかかる、実施学科数・全定員に対する独自検査募集割合・出願割合・倍率

R5年度 全日制	学校数	学科数	独自検査実施 (科数)	定員に対する独自検査割合			独自検査出願割合 平均	独自検査倍率(倍)			
				平均	最大	最小		平均	最大	最小	
県立	普通科	37	37	19	14.0%	30.0%	2.1%	7.8%	0.54	1.61	0
	専科	24	95	75	27.1%	30.0%	5.0%	16.1%	0.56	1.83	0
市立	専科のみ	2	6	6	30.0%	30.0%	30.0%	36.2%	1.14	1.83	0.83

※普通科と専科の併設校 11校
※定時制・通信制のみの2校は含まず

【参考】秋田県の一次募集にかかる、特色選抜と一般選抜の割合および志願倍率

学科(群)	募集定員	特色選抜 募集人員	一般選抜 募集人員	志願者数			志願倍率		特色選抜 志願者割合
				特色選抜	一般選抜 (併願除く)	総志願者	特色選抜	総志願者	
普通科(専科併設含む)	4,435	921	3,514	572	3,357	3,929	0.60	0.87	14.6%
専科	2,317	808	1,509	521	1,462	1,983	0.45	0.76	20.3%
合計	6,752	1,729	5,023	1,093	4,819	5,912	0.63	0.88	18.5%

※秋田県も、岐阜県同様に選抜を1本化しており、一次募集で特色選抜と一般選抜の検査を同日実施している。

※令和5年度入学者選抜から、新制度を実施。

他の都道府県における入学者選抜について

■中学校長推薦と自己推薦を併用している県での方式ごとの違い（令和5年度実施要項および聞き取りによる）

		中学校長推薦	自己推薦
福井県	募集人員	学校・学科によって異なる(5～32人)	学校・競技・活動等により異なる(最大20名程度)
	出願要件	○中学校長の推薦を得たもの ・志望意志、動機、理由が明白で適切、学科への適性や興味関心 ・人物および学習成績が優れている	○実施校により資格要件を設定 ・運動や文化活動の実績 ・生徒会活動やボランティア活動 ・探究活動 ・学力、各種資格や入賞実績等
	内容確認	志望理由書に係る「記入上の注意事項」において、志望理由書に記入するそれぞれの資格・要件について、証明書(あるいはそれに代わるもの)の写しを添付するように記述。	
愛知県	募集人員	定員の10～15%	定員の20%程度まで
	出願要件	○中学校長の推薦を得たもの ・志望意志、動機、理由が明白で適切、学科への適性や興味関心 ・人物および学習成績が優れている	○学科により資格が異なる ・学科の教育内容を理解、意欲の強さ（農、工、商、水産、家庭、看護および福祉） ・特定の分野において優れた能力と実績（理数、体育、外国語・国際関係、総合、 コース設置・特色ある教育課程を有する普通科） ・強い学習意欲と地域社会への貢献の意志（地域貢献を特色とする学校）
	内容確認	出願資格の要件において、部活動等での順位や実績等の細かな要件を設定していないため、エビデンスの確認が必要な事項はない。	
兵庫県	募集人員	・定員の50%以内、もしくは定員の全て(専科) ・普通科のコースによっては実施(定員の全て) ・総合学科(定員の50%以内)	定員の20%以内(最大40人) 一部学校で50%以内
	出願要件	○中学校長の推薦を得たもの ・志望意志、動機、理由が明白で適切、学科への適性や興味関心 ・人物および学習成績が優れている	○実施校により資格要件を設定
	内容確認	原則として、中学校から提出される内容に基づいて判断。高校側での調査は行わない。	
福岡県	募集人員	実施校の校長が決定 (学科等により差異、推薦の定員の方が少ない)	実施校の校長が決定 (上限目安あり、最大80%程度)
	出願要件	○中学校長の推薦を得たもの ・志望意志、動機、理由が明白で適切、学科への適性や興味関心 ・人物および学習成績が優れている ・志願先高校が定める出願資格を満たす者(目安)	○志願先高校が定める出願資格を満たす者(判定基準)
	内容確認	・実績の取り扱い方について、県として定めていることはない。 ・昨年度までは大会成績や検定等を出願要件にしないように指導。(新型コロナの関係) ・各高校によって出願に必要な書類は変わってくるが、志願者が用意するものと考えている。	

滋賀県立高等学校入学者選抜方法等改善協議会 中間報告に関する意見聴取結果より

集計結果より

・実施期間：令和5年3月10日～3月24日

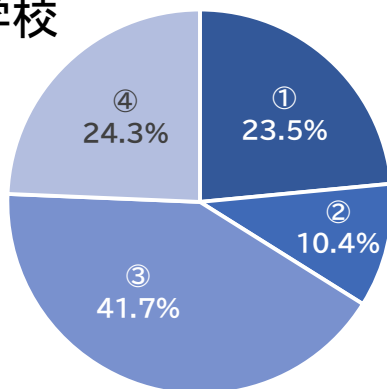
・対象：県立高等学校関係者(校長、副校長、教頭、入学者選抜担当)

公立中学校関係者(校長、副校長、教頭、進路担当者) 307人

➤ 二次選抜の在り方について、どのようにお考えですか。

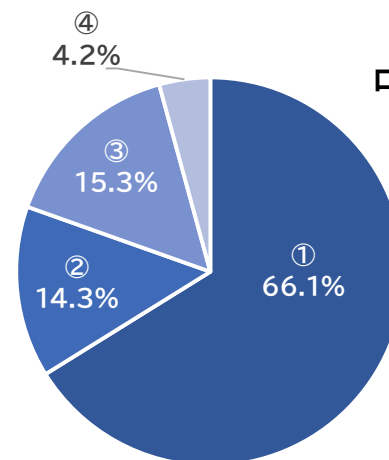
- ① 日程等を含め現行制度の二次選抜でよい
- ② 二次選抜は必要であるが、私立高校に合格した者が出願できないなど、出願資格の検討をする必要がある
- ③ 二次選抜は必要であるが、日程を検討する必要がある
- ④ 二次選抜は必要でない

高等学校



有効回答数：115

中学校



有効回答数：189

■高校では、③の意見が最も多い。現行の二次選抜は、発表が3月の下旬(令和6年度入試では3/22)であり、発表から新年度までの時間が短い。「二次選抜の必要性」については、4分の3以上が必要と考えている。

■中学校では①が66%を占める。「二次選抜の必要性」としては約96%となっている。②③が少ないのは、現行の選抜方法の中で、二次選抜日程の変更は難しいと考えている結果であると思われる。

滋賀県立高等学校入学者選抜方法等改善協議会 中間報告に関する意見聴取結果より

集計結果より

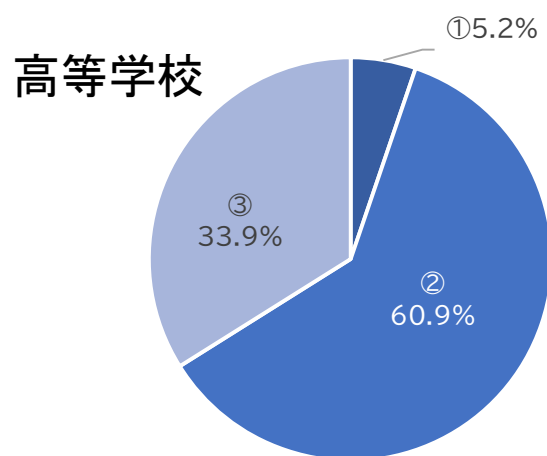
・実施期間：令和5年3月10日～3月24日

・対象：県立高等学校関係者(校長、副校長、教頭、入学者選抜主担当者)

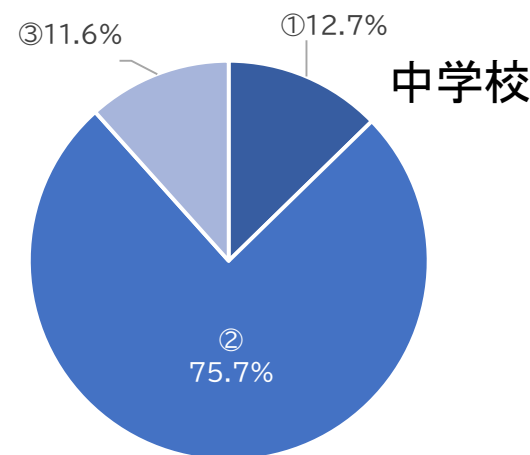
公立中学校関係者(校長、副校長、教頭、進路主担当者) 307人

➤ 帰国生徒・外国人生徒に対する特別の選抜枠を新たに導入することについて、どのようにお考えですか。

- ① すべての高校に特別の選抜枠を設けることが望ましい
- ② 帰国生徒・外国人生徒に対する教育課程を整備した上で、特別の選抜枠を設けることが望ましい
- ③ 特別の選抜枠は必要ない



有効回答数：115



有効回答数：189

- 高校・中学校ともに、②の意見が非常に多い。「入学者の選抜」段階だけでなく、「入学してから」の学習等の保障が重要であるという考え方から来るとされる。
- 現段階では、教育課程の整備までは進んでいないため、今後に向けて柔軟に対応できるような制度を構築できるように考えることが肝要であると考えられる。

ex. スクールミッションや教育課程の整備などを行った学校が、多面的観点から評価する選抜の1つの型として実施

他府県での日程変更の例 (広島県、令和5年度入試から一本化)

改善の
方向性

- ①入試の長期化の解消 → 2月上旬～3月下旬までの約2か月にわたる入試期間の短縮
- ②主体的な志望校選択 → 学校や学科の特色に応じた選抜の拡充
- ③セーフティネットの観点 → 二次募集の継続

令和4年度(2022年度)入学者選抜日程				
1・2月				
1/20	木	選抜(I)等 出願	2/25 金	
1/21	金		2/26 土	
1/22	土		2/27 日	
1/23	日		2/28 月	
1/24	月		3月	
1/25	火	↓	3/1 火	
1/26	水		3/2 水	
1/27	木		3/3 木	
1/28	金		3/4 金	
1/29	土		3/5 土	
1/30	日		3/6 日	
1/31	月		3/7 月	
2/1	火		3/8 火 選抜(II)等 学力検査等	
2/2	水		3/9 水	
2/3	木	選抜(I)等 面接等	3/10 木	
2/4	金		3/11 金 選抜(II)等 追検査	
2/5	土		3/12 土 ※中学校卒業式	
2/6	日		3/13 日	
2/7	月		3/14 月	
2/8	火	選抜(I)等 結果通知	3/15 火 選抜(I)(II)等 合格者発表	
2/9	水		3/16 水	
2/10	木		3/17 木	
2/11	金		3/18 金 選抜(III) 出願	
2/12	土		3/19 土	
2/13	日		3/20 日	
2/14	月		3/21 月	
2/15	火	選抜(II)等 出願	3/22 火 ↓	
2/16	水		3/23 水 選抜(III) 作文・面接	
2/17	木		3/24 木 選抜(III) 合格者発表	
2/18	金	↓	3/25 金	
2/19	土		3/26 土	
2/20	日		3/27 日	
2/21	月	選抜(II)等 志願変更	3/28 月	
2/22	火		3/29 火	
2/23	水		3/30 水	
2/24	木	↓	3/31 木	

※選抜(I)…推薦選抜 選抜(II)…一般選抜 選抜(III)…二次募集

■推薦選抜と一般選抜を、特色枠と一般枠を持つ「一次選抜」に集約

■時期の前倒し(合格発表が約1週間前に)



※Web出願も導入し、関係者の負担を軽減

令和5年度(2023年度)入学者選抜日程				
1・2月				
1/20	金		2/25 土	
1/21	土		2/26 日	
1/22	日		2/27 月 一次選抜等(学力検査等)	
1/23	月		2/28 火 一次選抜等(自己表現等)	
1/24	火		3月	
1/25	水	一次選抜等 出願	3/1 水 一次選抜等予備日	
1/26	木		3/2 木	
1/27	金		3/3 金	
1/28	土		3/4 土	
1/29	日		3/5 日	
1/30	月		3/6 月 一般選抜等 追検査	
1/31	火		3/7 火	
2/1	水		3/8 水 ※中学校卒業式	
2/2	木		3/9 木 一般選抜等 合格者発表	
2/3	金		3/10 金	
2/4	土		3/11 土	
2/5	日		3/12 日	
2/6	月		3/13 月	
2/7	火		3/14 火 二次選抜出願	
2/8	水		3/15 水 ↓	
2/9	木		3/16 木 二次選抜出願	
2/10	金	↓	3/17 金	
2/11	土		3/18 土	
2/12	日		3/19 日	
2/13	月		3/20 月 二次選抜合格者発表	
2/14	火	一次選抜等志願変更	3/21 火	
2/15	水		3/22 水	
2/16	木		3/23 木	
2/17	金		3/24 金	
2/18	土		3/25 土	
2/19	日		3/26 日	
2/20	月	↓	3/27 月	
2/21	火		3/28 火	
2/22	水		3/29 水	
2/23	木		3/30 木	
2/24	金		3/31 金	

《例》選抜日程比較（令和6年度入学者選抜 ↔ 令和8年度入学者選抜）

令和6年度(2024年度)入学者選抜日程		3月	
1/25 木		3/1 金	高等学校 卒業式
1/26 金		3/2 土	
1/27 土		3/3 日	
1/28 日		3/4 月	
1/29 月		3/5 火	
1/30 火	推薦・特色・スポ文出願	3/6 水	一般選抜 学力検査
1/31 水		3/7 木	一般選抜 実技検査
2/1 木		3/8 金	
2/2 金		3/9 土	
2/3 土		3/10 日	
2/4 日		3/11 月	一般選抜 追検査
2/5 月		3/12 火	中学校卒業式
2/6 火		3/13 水	入学許可予定者発表
2/7 水	推薦・特色・スポ文 検査	3/14 木	二次選抜出願
2/8 木		3/15 金	
2/9 金		3/16 土	
2/10 土		3/17 日	
2/11 日		3/18 月	
2/12 月		3/19 火	二次選抜 検査
2/13 火	推薦・特色・スポ文 追検査	3/20 水	
2/14 水	入学許可予定者通知	3/21 木	
2/15 木		3/22 金	終業式 二次選抜 発表
2/16 金		3/23 土	
2/17 土		3/24 日	
2/18 日		3/25 月	
2/19 月		3/26 火	
2/20 火	一般選抜出願	3/27 水	
2/21 水		3/28 木	
2/22 木		3/29 金	
2/23 金		3/30 土	
2/24 土		3/31 日	
2/25 日			
2/26 月			
2/27 火			
2/28 水	一般選抜 出願変更		
2/29 木			

53日間

一次選抜 検査
(現行)3月6日~10日

一次選抜 合格発表
(現行)3月13日~17日

二次選抜 発表
(現行)3月22日~25日

令和8年度(2026年度)入学者選抜日程		3月	
1/25 日		3/1 日	
1/26 月		3/2 月	
1/27 火		3/3 火	
1/28 水		3/4 水	
1/29 木		3/5 木	
1/30 金		3/6 金	
1/31 土		3/7 土	
2/1 日		3/8 日	
2/2 月		3/9 月	
2/3 火		3/10 火	
2/4 水		3/11 水	
2/5 木		3/12 木	
2/6 金		3/13 金	
2/7 土		3/14 土	
2/8 日		3/15 日	
2/9 月		3/16 月	
2/10 火		3/17 火	
2/11 水		3/18 水	
2/12 木		3/19 木	
2/13 金		3/20 金	
2/14 土		3/21 土	
2/15 日		3/22 日	
2/16 月		3/23 月	
2/17 火		3/24 火	
2/18 水		3/25 水	
2/19 木		3/26 木	
2/20 金		3/27 金	
2/21 土		3/28 土	
2/22 日		3/29 日	
2/23 月		3/30 月	
2/24 火		3/31 火	
2/25 水			
2/26 木			
2/27 金			
2/28 土			

滋賀県立高等学校入学者選抜方法等改善協議会等 今後の予定

会 議	開催期日・場所	協議内容等
第7回 (今回)	令和5年8月29日(火) 滋賀県庁東館7階大会議室	・選抜制度(日程等)について
第8回	令和5年10月頃 場所未定	・最終報告(案)について
最終報告	令和5年12月頃	・最終報告公表
制度公表	令和5年12月頃	・新入学者選抜制度公表